

未来 mirai

一人一人が夢をもち
未来を生きる力のある子



琉球大学教育学部附属小学校

学校だより 第3号

発行 令和8年7月17日(金)

文責 校長 石川 博久



学校ホームページ

第一学期前半 よくがんばりました！ 優しい思いと行動が広がりますように！

令和8年度は、4月9日(木)就任式・第一学期始業式、4月10日(日)入学式からスタートし、各学年に応じた日常の学習指導や生活指導を行ってきました。どの学年学級においても、子供たちは仲間や先生方と課題解決に向けて真剣に学習に向き合っている姿がありました。仲間と関わりながら学びを深め、課題や事象などを一方向からだけではなく、多角的多面的に見て考えることができるようになってきています。子供たちの成長のすごさを実感していますし、これからがさらに楽しみです。

第一学期前半、様々な子供たちの活動の中で、私が最も印象に残っている子供たちの姿が右の写真です。これは登校時に6年生が奉仕活動(清掃、雨天時の低学年の雨具の世話、怪我した車いすの後輩の世話など)を行っている様子です。児童玄関が開くのは7時30分。この奉仕活動は、7時15分頃から7時45分頃まで、約10名の6年生が毎日に行っています。委員会活動でも、当番活動でも、教師からお願いされてもいないのです。活動の中心となって取り組んでいる6-3浜里悠乃(はるの)さんと6-2比嘉紗慧(さえ)さんの二人に、活動している理由などについて聞いてみました。



笑顔でインタビューに答えてくれた
左：比嘉紗慧さん、右：浜里悠乃さん
ありがとうございます！

◆なぜ、この活動を続けているのですか？

悠乃さん「日本一幸せが多い学校にしたいので、自分にできることを考えてやっています」

◆毎日続けることって大変じゃないですか？

紗慧さん「大変だけど、学校がきれいになってみんなが気持ちよくなってくれたらと思ってやっているの。一緒にやってくれる友達も増えてきたので嬉しいです」

◆これからも続けますか？

紗慧さん「卒業まで絶対続けます。自分たちのやっていることや思いが、千原っ子みんなに伝わり一緒に行動してくれる人が増えてくれたら嬉しいです」



悠乃さん「始めた頃は、人のために汗を流すことが、こんなに気持ちがいいとは思わなかったです。今は、絶対、幸せいっぱい附属小学校をつくりたいという気持ちが強くなっているので、みんなで、幸せにつながることをやり続けていきたいです」

ちなみに、今回紹介した悠乃さんと紗慧さんは、学級での学習も頑張っています。二人は「学ぶことも必ず幸せな学校をつくることにつながるから」と笑顔で答えてくれました。二人と同じような思いをもって、自分らしく学級や学校のために取り組んでいる千原っ子は他にも多くいると思います。学校は、このような優しい思いと行動を大切に、子供たちが主体となって広げていけるように、これからも子供たちと教師と一緒に、安心して仲間と楽しく過ごせる学校づくりをめざしていきます。保護者の皆様、今後とも教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。第一学期前半、子供たちは、目標達成に向けて、よくがんばりました。各ご家庭でも褒めてあげてください。

明日7月18日(土)から8月23日(日)までは、37日間の夏休み期間となります。学校では、子供たちが事件・事故に巻き込まれることのないように安全指導を行っています。親子でも、外出する時の約束や、自転車の乗り方、川や海には絶対に子供だけでは行かないことなどについて、具体的な場面を想定して話し合い、安全確保の確認を行っていただきたいと思います。また、これまで学習してきた内容の分かり直しを計画的に行ったり、夏休み期間にしかできない取組にもチャレンジしてもらいたいと思います。健康・安全に気を付けて、楽しい夏休みを過ごしてください。

8月24日(月)第一学期後半スタートの日に、たくましくなった千原っ子と会えることを楽しみにしています。